

ゆふいん 由布院地区 (大分県由布市)
ゆふし
(都市再生整備計画事業)

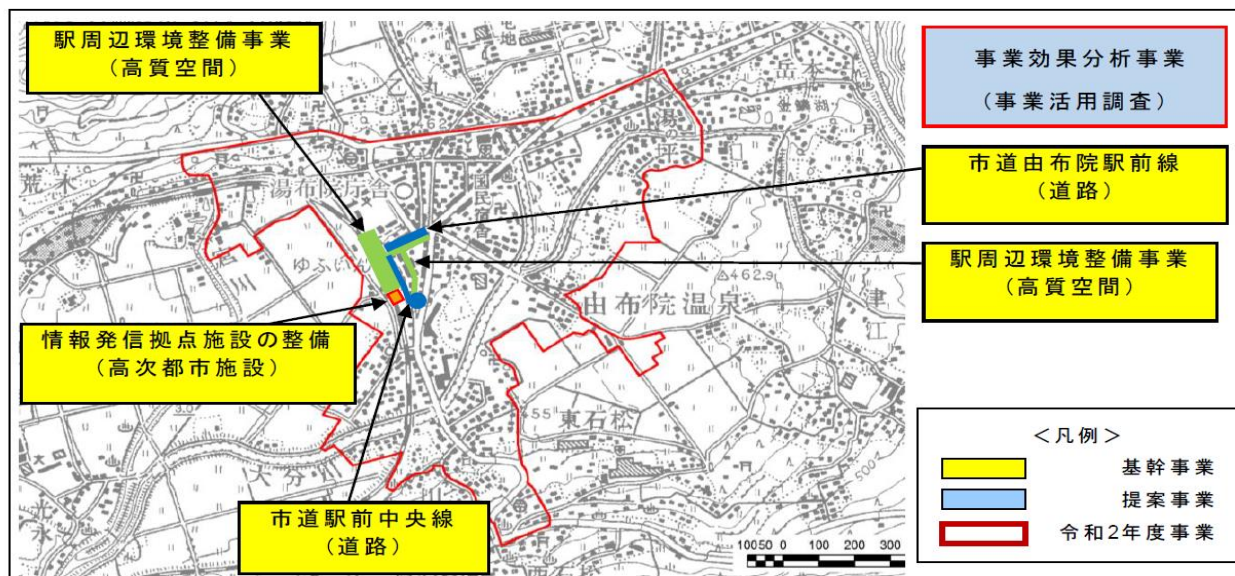
1. 地区概要

本地区は、由布市湯布院地域市街地の中心部に位置し、観光産業を中心とし、宿泊・商業施設や住宅、田園風景等が混在する観光地であり、まちづくりに関する住民意識が高い地域である。

現在、由布院温泉は年間約370万人の観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境、情報発信機能など課題も多い。昨年度の情報発信拠点施設の整備に引き続き、駅前広場の整備等の実施により、「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとしている。

2. 計画内容

所在地	: 大分県由布市
事業主体	: 由布市
面積	: 90.0ha
交付期間	: 平成28年度 ~ 平成32年度
事業費	: 全体 640.0 百万円 (国費 : 256.0 百万円)
事業内容	情報発信拠点事業、駅周辺環境整備事業 市民・観光交流ゾーン環境整備事業等



社会資本総合整備計画(第5回変更)

ゆふし たいざいがたじゅんかんかたほようおんせんち さいこうちくけいかく
由布市(滞在型・循環型保養温泉地)再構築計画

おおいたけん ゆふし
大分県由布市

令和2年6月

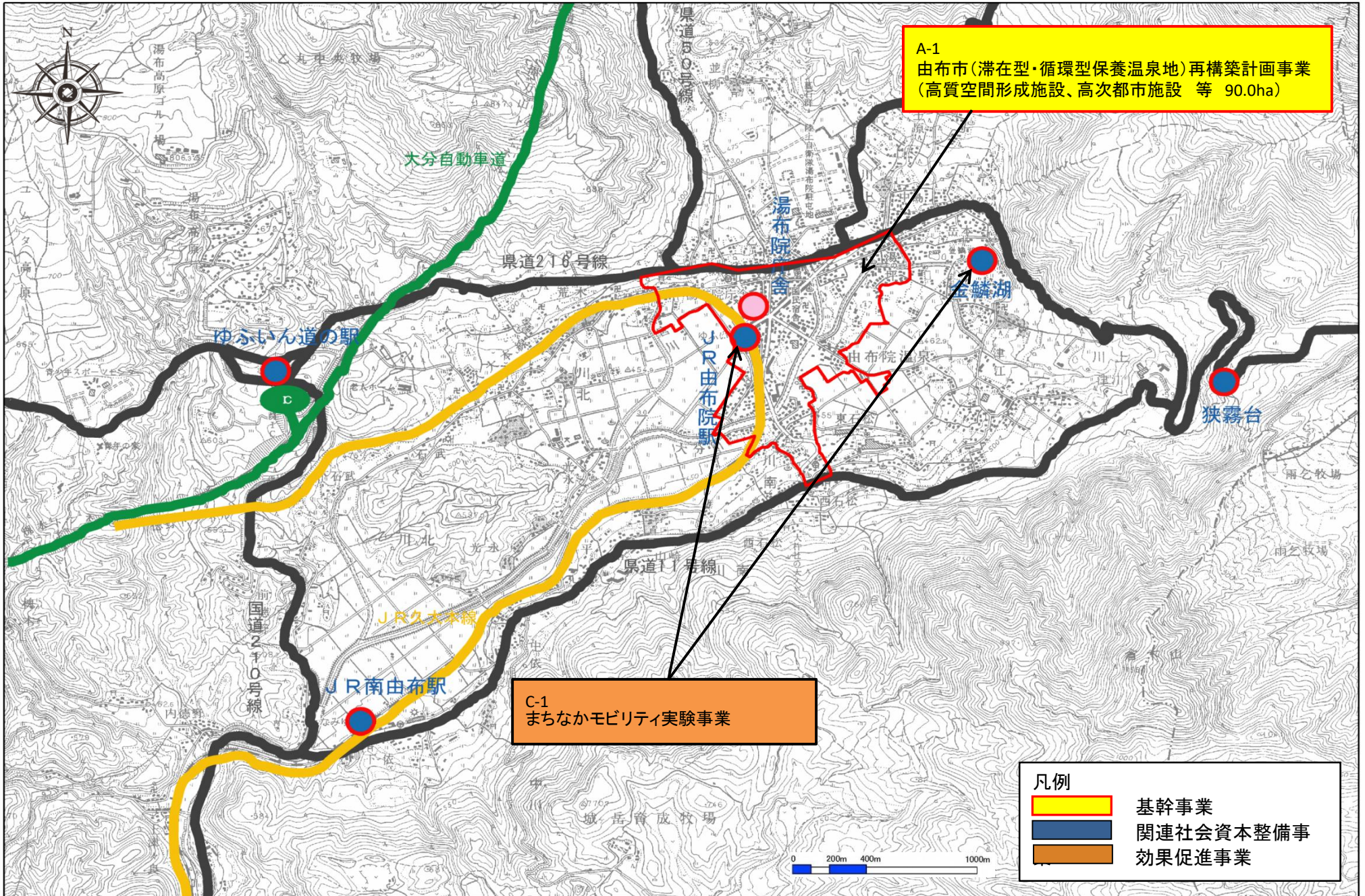
社会資本総合整備計画

令和2年6月1日

計画の名称	1 由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画										重点計画の該当	○																																
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）					交付対象	大分県、由布市																																					
計画の目標	<p>大目標：「湯布院らしさ」を継承するため、早期に解決すべき課題や新たなチャンスを見直し、観光ブランドとしてより一層の磨きをかけ、官民が一体となってワールドワイドの「由布院ブランド」を構築する。</p> <p>目標1：「由布観光ブランド」への昇華に向けて、まずは原点に立ち返り、揺るぎない「由布院観光ブランド」の将来に向けた一歩を踏み出すことで、世界的な観光地としての体制を確立する。</p> <p>目標2：官民連携の新組織「まちづくり観光局（仮称）」の設置に伴い、観光振興策を強化し、賑わい創出や活性化を図り、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指す。</p>																																											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 年間の観光交流者数400万人の内、観光交流センター（由布市ツーリスト・インフォメーション・センター）運用初年度から年間観光交流者等の約1.1割の利用を目標とする。 商店街の賑わい創出や歩道、町並みの環境整備により商店街の魅力をアップさせ、流入者増を図る。 JR由布院駅周辺の整備事業等により、進入車両の導線を整理・誘導し、駅北側広場前面への車両進入の抑制を図る。 																																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th colspan="2">最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H26当初)</th> <th>—</th> <th colspan="2">(R2末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅や各施設における来訪者の観光案内の問い合わせに対応する件数。</td> <td>16万人/年</td> <td>—</td> <td colspan="2">43万人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>由布見通りにおける歩行者通行者数を測定する（休日12時間通行量）。</td> <td>(H27当初) 5,750人/日</td> <td>—</td> <td colspan="2">7,200人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JR由布院駅北側広場前面の断面交通量を測定する（休日12時間交通量）。</td> <td>(H27当初) 2,471台/日</td> <td>—</td> <td colspan="2">1,800台/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値				備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値		(H26当初)	—	(R2末)		駅や各施設における来訪者の観光案内の問い合わせに対応する件数。	16万人/年	—	43万人/年			由布見通りにおける歩行者通行者数を測定する（休日12時間通行量）。	(H27当初) 5,750人/日	—	7,200人/日			JR由布院駅北側広場前面の断面交通量を測定する（休日12時間交通量）。	(H27当初) 2,471台/日	—	1,800台/日		
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																																							
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																									
	(H26当初)	—	(R2末)																																									
駅や各施設における来訪者の観光案内の問い合わせに対応する件数。	16万人/年	—	43万人/年																																									
由布見通りにおける歩行者通行者数を測定する（休日12時間通行量）。	(H27当初) 5,750人/日	—	7,200人/日																																									
JR由布院駅北側広場前面の断面交通量を測定する（休日12時間交通量）。	(H27当初) 2,471台/日	—	1,800台/日																																									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	647百万円	A	640百万円	B	0百万円	C	7百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C+D)	1.85%																																
交付対象事業																																												
A 基幹事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																													
A-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	由布院地区都市再生整備計画事業	情報発信拠点事業 他 90.0ha	由布市	H28	H29	H30	R1	R2	640																														
合計													640																															
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																													
合計													0																															
C 効果促進事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																													
C-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	まちなかモビリティ実験事業	ウォーキングバイシクル(予定)を活用した交通実験	由布市	H28	H29	H30	R1	R2	7																														
合計													7																															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																																
C-1	自動車を使用しない交通実験を行うことにより、由布市由布院観光の課題である自動車交通量の削減が期待できる。																																											
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																													
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																																

参考図面

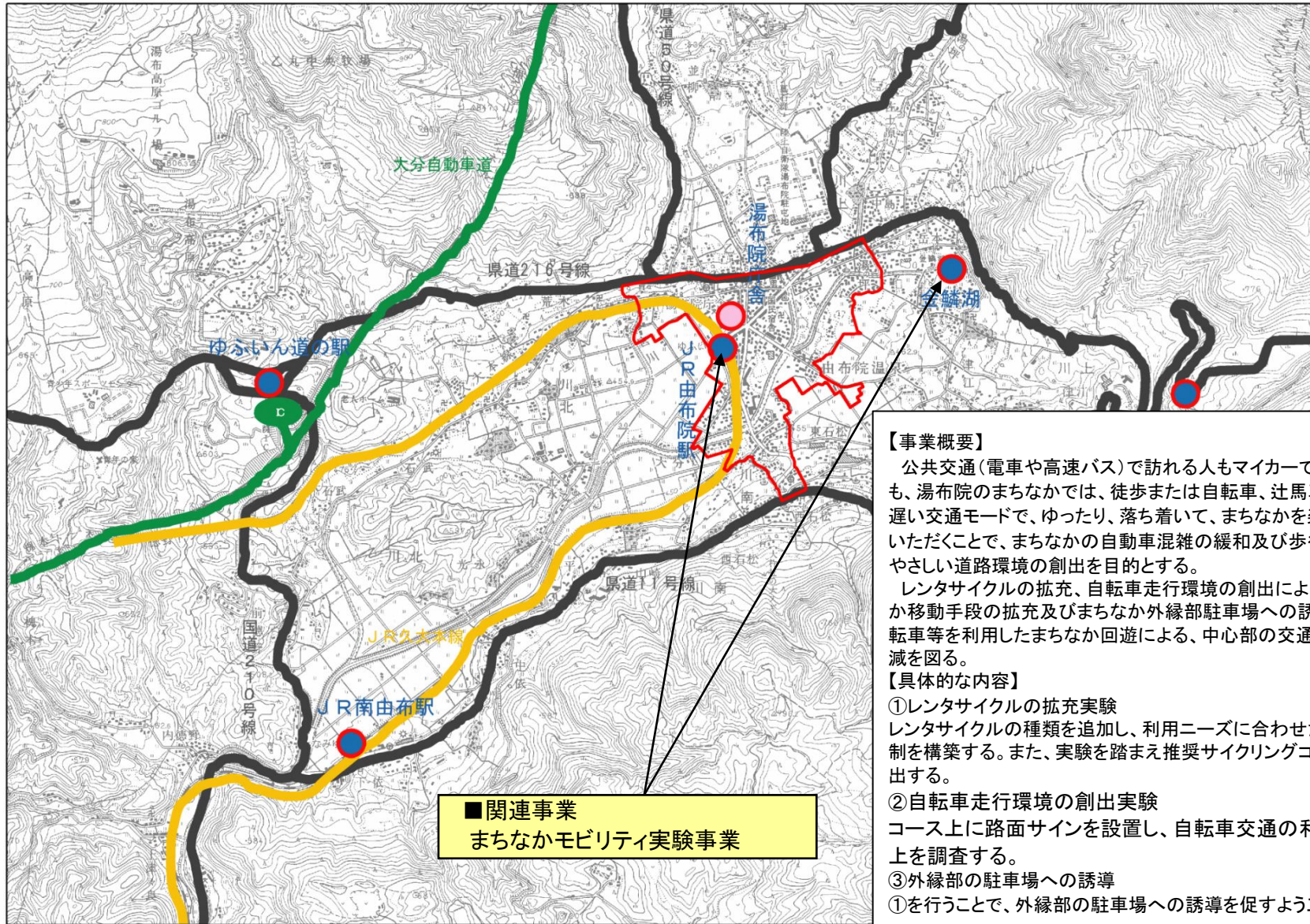
計画の名称	由布市(滞在型・循環型保養温泉地)再構築計画	交付対象	大分県 由布市
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)		



関連事業

まちなかモビリティ実験事業

平面図



■ 関連事業
まちなかモビリティ実験事業

【事業概要】

公共交通(電車や高速バス)で訪れる人もマイカーで訪れる人も、湯布院のまちなかでは、徒歩または自転車、辻馬車などの遅い交通モードで、ゆったり、落ち着いて、まちなかを楽しんでいただくことで、まちなかの自動車混雑の緩和及び歩行者等にやさしい道路環境の創出を目的とする。

レンタサイクルの拡充、自転車走行環境の創出によるまちなか移動手段の拡充及びまちなか外縁部駐車場への誘導&自転車等を利用したまちなか回遊による、中心部の交通負担の軽減を図る。

【具体的な内容】

- ①レンタサイクルの拡充実験
レンタサイクルの種類を追加し、利用ニーズに合わせた貸出体制を構築する。また、実験を踏まえ推奨サイクリングコースを創出する。
- ②自転車走行環境の創出実験
コース上に路面サインを設置し、自転車交通の利便性向上を調査する。
- ③外縁部の駐車場への誘導
①を行うことで、外縁部の駐車場への誘導を促すよう工夫する。

都市再生整備計画(第5回変更)

由布院地区

大分県 由布市

令和2年6月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	由布市	地区名	由布院地区	面積	90 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度				

目標
 大目標:「湯布院らしさ」を継承するため、早期に解決すべき課題や新たなチャンスを具現化し、観光ブランドとしてより一層の磨きをかけ、官民が一体となってワールドワイドの「由布院ブランド」を構築する。
 目標1:「由布観光ブランド」への昇華に向けて、まずは原点に立ち返り、揺るぎない「由布院観光ブランド」の将来に向けた一歩を踏み出すことで、世界的な観光地としての体制を確立する。
 目標2:官民連携の新組織「まちづくり観光局(仮称)」の設置に伴い、観光振興策を強化し、賑わい創出や活性化を図り、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指す。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ・本地区は、由布市湯布院地域市街地の中心部に位置し、観光産業を中心とし、宿泊・商業施設や住宅、田園風景等が混在する観光地であり、古くから観光まちづくりに関する住民意識が高い地域である。
 ・現在、由布院温泉は年間400万人もの観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境や情報発信が充実していないなど課題がある。
 ・「住む人も訪れる人も癒される“観光まちづくり”」の観点から更なる「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとしている。

課題
 ①観光案内の取扱い件数の増加、対応ニーズの多様化への対応
 ・現行の狭小な観光案内所での対応にはスペースを含めてその対応能力に限界があり、また、多言語対応が求められている。
 ②訪日観光客増加に伴う受入体制の整備
 ・観光や緊急情報、案内標識・看板が日本語主体であり、外国人観光客への対応が求められている。
 ③JR由布院駅・バスセンター利用客の増加に伴う交通誘導の実施
 ・JR由布院駅周辺における人・車両の集中による混雑の緩和、歩車分離の整備が求められている。
 ④湯布院らしさを体験できる観光ルートの情報発信と観光案内表示の整備
 ・JR由布院駅から湯の坪街道への移動ルートに観光客が集中しているため、他の観光素材情報の発信が必要である。
 ・田園風景や里山等を楽しむルートの案内が少ないため、わかりやすい情報の提供が必要である。
 ⑤商店街と連携した景観保全の実施とまちの活性化
 ・商店看板や外壁等の景観イメージは観光客へ与える印象が強いため、由布院らしさを表現した、統一的な景観創出対策が必要である。
 ・商店街で観光客が楽しめるような工夫・演出等による観光客需要を促進する手段が必要である。
 ⑥二次交通を活用した他観光地への周遊促進
 ・由布院を起点とした県内観光地を結ぶ交通路線の確保および由布院盆地内の渋滞緩和が必要である。
 ⑦宿泊施設等観光産業における相互連携の強化
 ・宿泊施設等観光産業と連携して、訪日観光客への緊急時の情報提供、相談等に対応することで、安心して滞在できる環境を整備する必要がある。
 ⑧地元関係者・住人を対象とした訪日観光客への理解・意識の醸成
 ・災害等緊急時の連絡、避難誘導の環境整備等、一元化された情報による格差のない訪日観光客への対応には、住民一人一人の参加が求められている。

将来ビジョン(中長期)
 ・由布市総合計画では、「住民一人ひとりが参加して積み上げるまちづくり」、「自然と共に生きるまちづくり」、「地域の自主性を大切にすまちづくり」、「潤いのある暮らしを育てていくまちづくり」、「豊かな育みと健やかに暮らせるまちづくり」、「ゆるやかなペースで成熟するまちづくり」を、由布院地域の整備イメージとして掲げている。本地域は、由布岳や倉木山・福万山といった千m級の山々に囲まれ、清らかな湧水と豊富な温泉、自然景観といった地域資源を生かし、観光施設、医療・福祉施設も充実している。この地域資源を守り育てる精神は脈々と受け継がれており、全国的にも高い評価を受けている「人」と「自然」が調和したまちづくりへの取り組みを継続して実践していくことで、由布市が目指す将来像(地域自治を大切にしたい 住み良き日本一のまち)の実現に繋がるものとする。

目標を定量化する指標

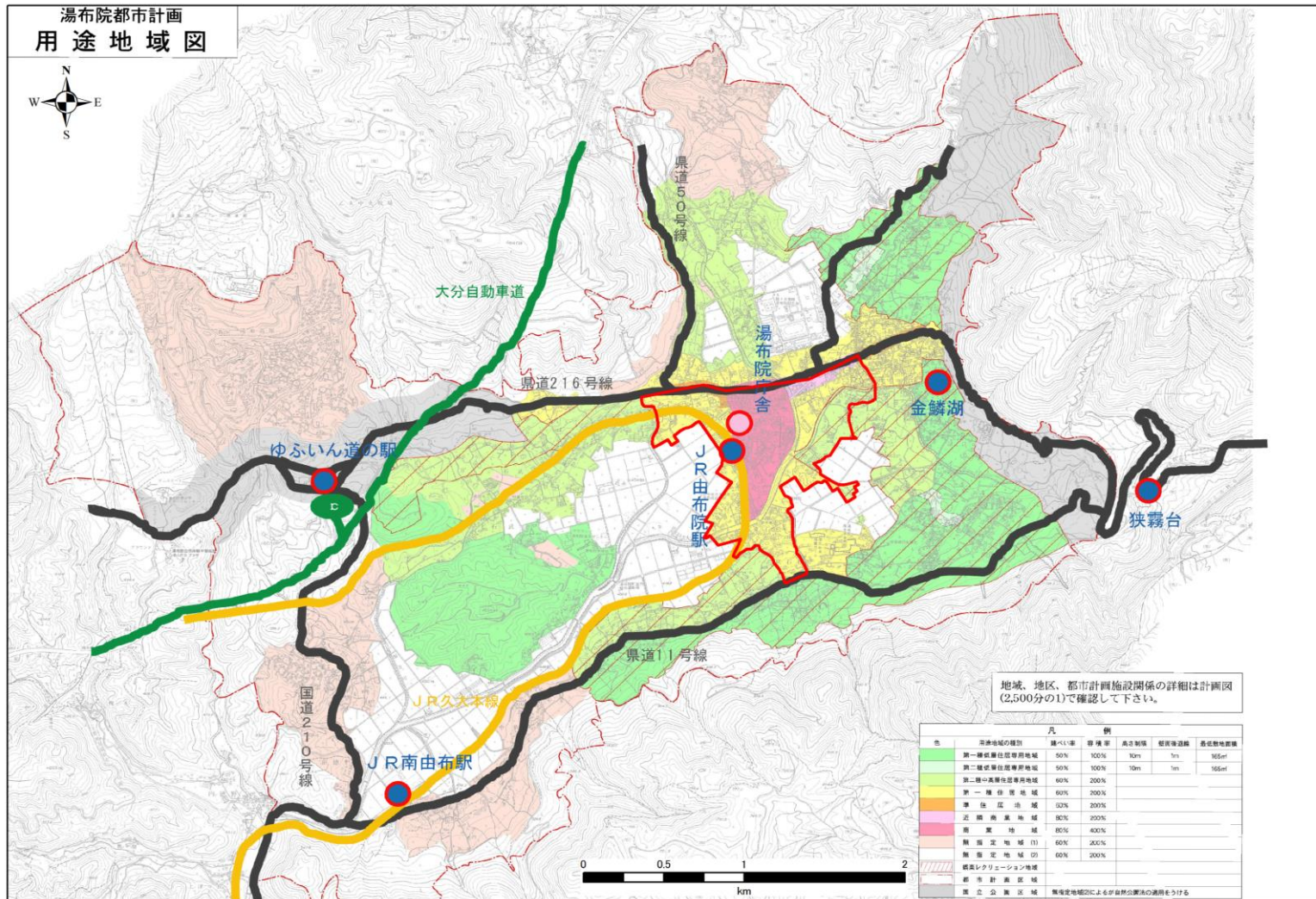
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光交流センターの利用者数	人/年	来訪者の観光案内等に関する問い合わせ件数	年間400万人の交流者の内初年度に約1割が利用するのを目標	16万件/年	平成26年度	43万人/年	令和2年度
由布見通りの歩行者通行者数	人/日	休日12時間通行量	商店街活性化事業における歩行者の増大効果を指標とする	5,750人/日	平成27年度	7,200人/日	令和2年度
JR由布院駅北側の断面交通量	台/日	休日12時間交通量	駅周辺環境整備事業等における進入車両の抑制効果を指標とする	2,471台/日	平成27年度	1,800台/日	令和2年度

整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○観光形態の変化に伴う観光客への案内対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外観光客が気軽に立ち寄れるこれまでに例のない観光情報発信拠点を整備し、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所として、きめ細やかに観光交流者が満足する情報を提供することで、安心して滞在できる観光地を整備する。 	<p>情報発信拠点事業</p>
<p>○駅前周辺における観光客、住民の安全対策の推進と交流空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅敷地、隣接地を活用した人と車両動線を整理し、観光客や地元住民が安全で利用しやすいスペースの整備を行う。 ・賑わい創出のために、駅前広場を交流空間としたイベント関係の推進を行う。 	<p>駅周辺環境整備事業 商店街連携対策事業</p>
<p>○ゆっくりとした時間の中で由布院らしさを満喫できる動線整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー舗装、路面誘導表示、歩道段差解消等の安全対策および観光案内板、トイレ、授乳施設の増設等による周遊環境整備を行う。 ・自然環境を活かした周遊ルートの情報発信や自転車や辻馬車を活用した観光周遊ツールを開発し、回遊性を向上させる。 	<p>市民・観光交流ゾーン環境整備事業</p>
<p>その他</p>	
<p></p>	

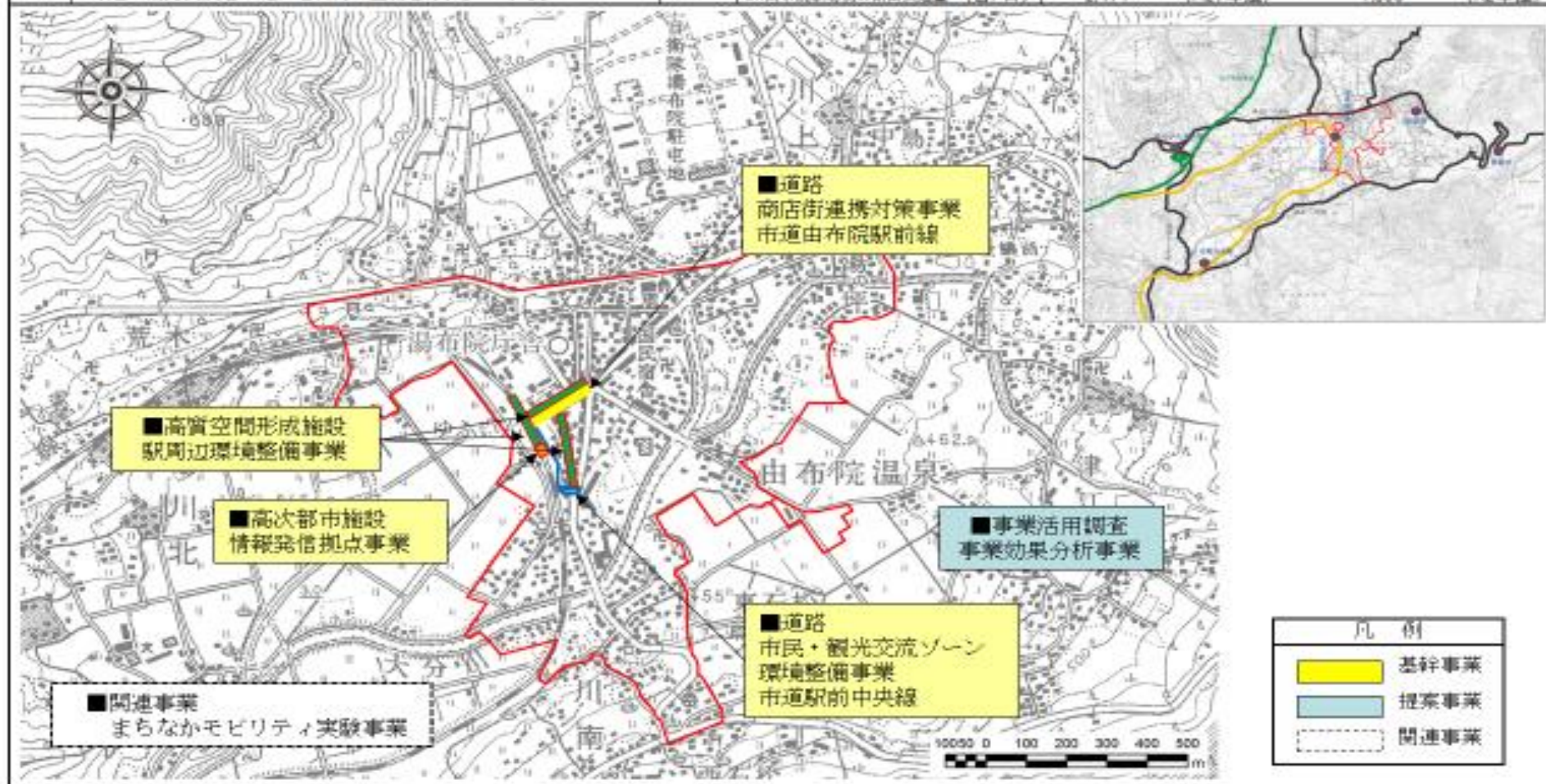
由布院地区(大分県由布市)	面積	90.0 ha	区域	
---------------	----	---------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



由布院地区(大分県由布市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	「住む人も訪れる人も癒される“観光まちづくり”の観点から要する「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとし本地区における居住環境の改善と観光交流者の増加を目的に整備を行うものとする。	代表的な指標	観光案内所利用客数(人/年)	16万	(H26年度)	→	43万	(R2年度)
			市街地通りの歩行者通行者数(人/日)	5,750	(H27年度)	→	7,200	(R2年度)
			JR由布院駅北側の駅前交通量(台/日)	2,471	(H27年度)	→	1,800	(R2年度)

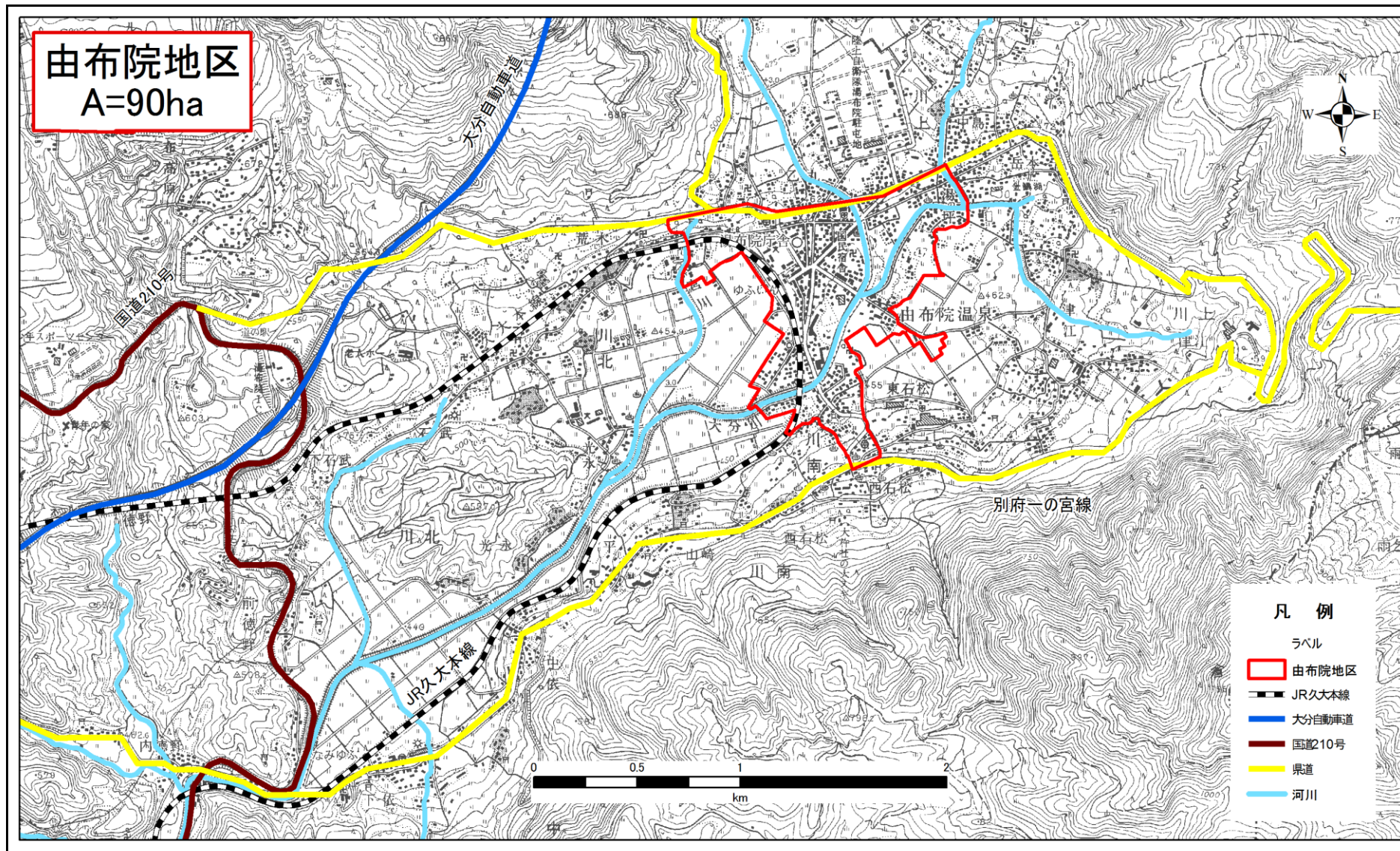


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ゆふいん
由布院地区 おおいた けん ゆふ
(大分県由布市)

由布院地区(大分県由布市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

由布院地区(大分県由布市) 様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	640.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	414.0 百万円	X>Yゆえ、本計画における交付限度額	414.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-----------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	36,000 m ²
-----------	-----------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	90,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○	0.50
	0.45
	0.40

Cl	0 円/m ²
-----------	--------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m ²)	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	0 m ²
-----------	------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ	
--------------------	--

	面積(m ²)	割合
道路	-	
公園	-	
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	414 百万円
-----------------------------	---------

ΣCn	0 円
------------	-----

下水道

区域面積(m ²)	90,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
----------------------------	-----

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	380,000

調整池	0 円
------------	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
-----------	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
-------------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	一般
合計		0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
-------------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
---------------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
-------------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
-------------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	414 百万円
----------------------------	---------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	640.0 百万円
-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	635.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	256.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	5.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	352.778	② (国費)
	合計(A+B)	640.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	256.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.008		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	256.000	⑥ (国費)
				3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率※		⑧ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A'+B')	0.000	(事業費)	※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値			
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑨÷(A'+B'))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)	

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A'、B'を記入し、A''=A、B''=B、H=A'+B'=A+Bとなる。

↓

交付限度額	256.000	⑫ (国費)
-------	---------	--------

○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	640.0	(事業費)	交付要綱に基づく交付限度額(⑫を1万円の位を切り捨て)	256.0	⑬ (国費)
			国費率	0.400	⑭ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-5-2
(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業	細項目								
道路		市民・観光交流ゾーン環境整備事業	由布市	38	7	30			1
		商店街連携対策事業	由布市	65					65
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設		駅周辺環境整備事業	由布市	119	7	40	70		2
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター	情報発信拠点事業	由布市	413	378	35			
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				635	392	105	70	68	0

提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業									0
事業活用 調査		事業効果分析事業	由布市	5					5
まちづくり活動 推進事業									
計				5	0	0	0	0	5
合計				640	392	105	70	68	5
累計進捗率(%)					61.3%	77.7%	88.6%	99.2%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率(%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(参考)関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
湯布院まちなかモビリティ実験事業	由布院地区	由布市	7				7		
合計			7	0	0	0	7	0	
累計進捗率(%)				0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 <small>m</small>	幅員		整備後 車線数 <small>車線</small>	歩道 幅員 <small>m</small>	まち交 事業費 <small>百万円</small>	まち交における 事業期間 <small>(年度)</small>	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 <small>年月</small>	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 <small>m</small>	整備後 <small>m</small>							
<道路>				-											
市道駅前中央線	由布院駅～ 県道鳥越由 布院線	地	市	-	舗装	1箇所	6.0	6.0	1.0	2.0	38	H28-R1年度	構造/工法:アスファルト舗装 細工種:土工一式・舗装工一式 植栽工一式	-	交差点改良工事 土工・植栽工事
市道由布院駅前線	由布院駅～ 県道鳥越由 布院線	地	市	-	舗装	1箇所	6.0	6.0	1.0	2.0	65	R1年度	構造/工法:アスファルト舗装 外 細工種:土工一式・舗装工一式	-	
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

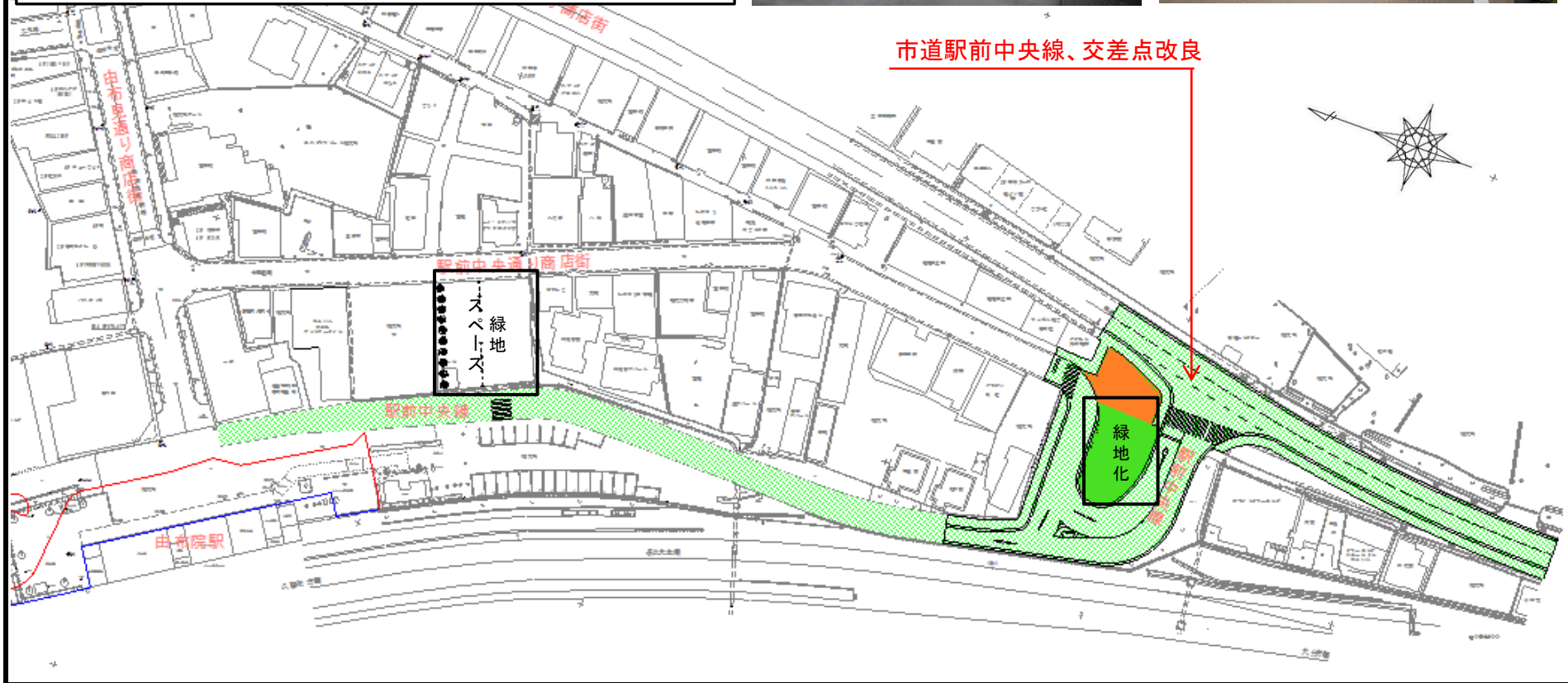
道路

市民観光交流ゾーン環境整備事業

平面図

【事業概要】

観光貸切バス等はJR由布院駅北側広場が待機場場となっており、渋滞の大きな原因の一つになっている。また、現況の交差点が鋭角なため、大型バスの入出進路が限定的となり、スムーズな車両の流れが確保できておらず、渋滞の原因となっている。よって、この現状を解決する為現在の一方通行を逆方向に変更し、由布院駅前進入車両の抑制を図る。また市道の舗装改良を行うと共に歩道を整備し、TICからの歩行者の動線を確保すると共にバス待避所の確保や車両誘導の整備を考慮した市道駅前中央線、交差点改良を行うものである。



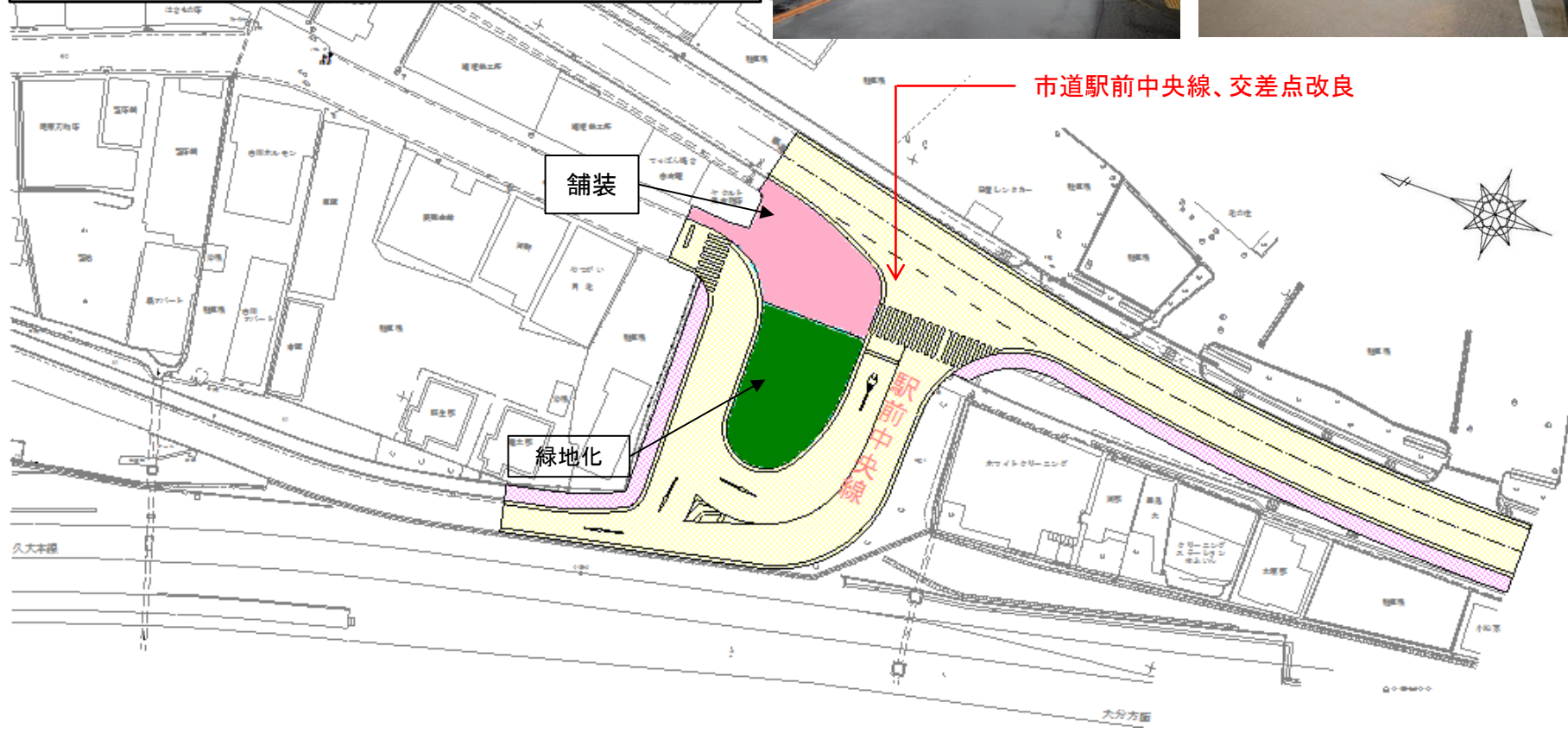
道路

市民観光交流ゾーン環境整備事業

交差点改良部

【交差点部事業概要】

市道駅前中央通り商店街及び市道駅前中央線の一方通行を現在と逆方向にする事によりTICと由布院駅への車両乗降の安全を確保すると共に大型バスなどの公共交通の由布院駅前へのスムーズな進入を確保し駅前の安全な歩行者空間を整備します。また、交差点部の残地を一部緑地化する事により市民の憩いの場とすると共に、市道と県道の接道部が直角になる事により、快適で安全な交差点改良を目指します。



道路

商店街連携対策事業

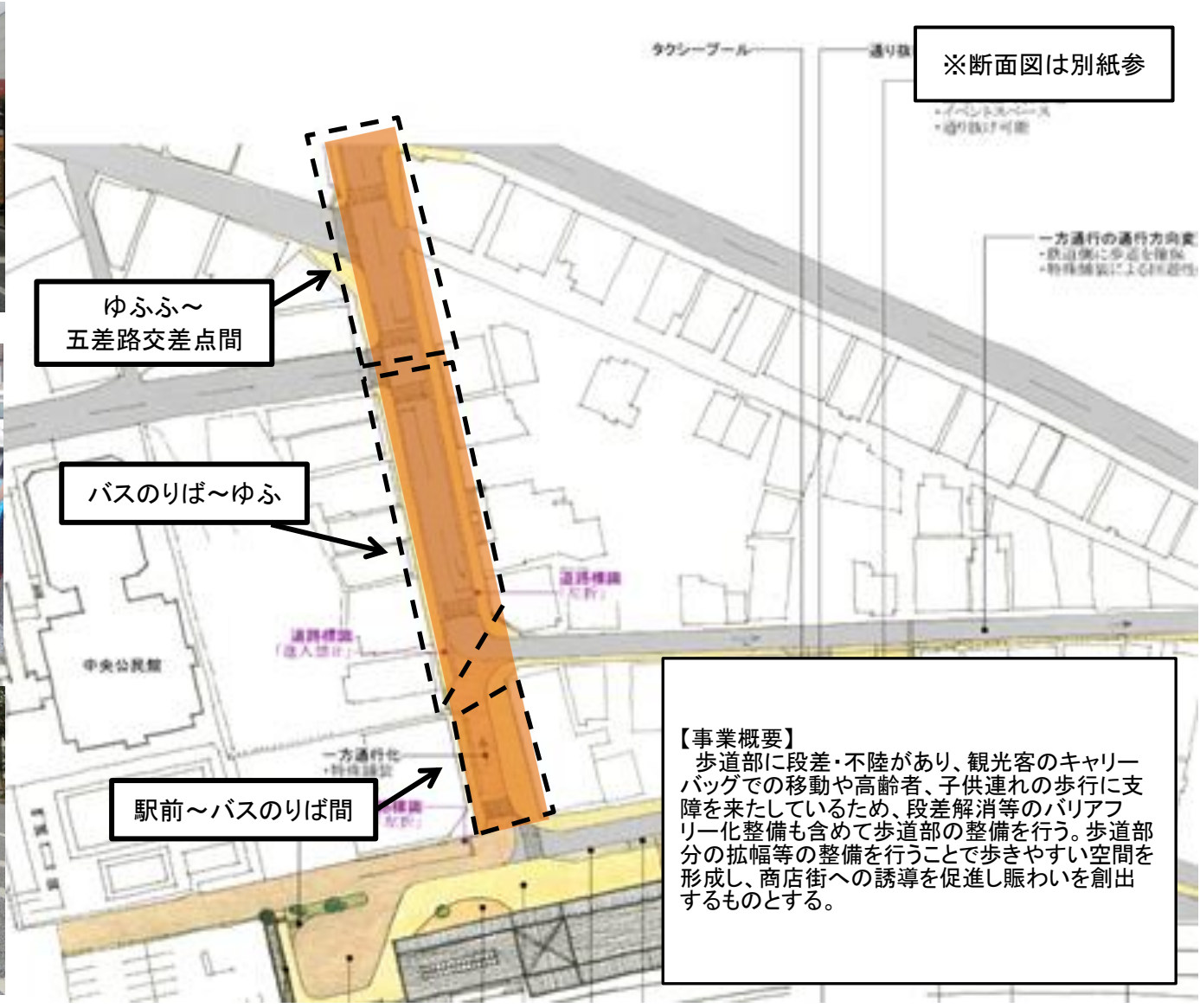
平面図



ゆふふ～
五差路交差点間

バスのりば～ゆふ

駅前～バスのりば間

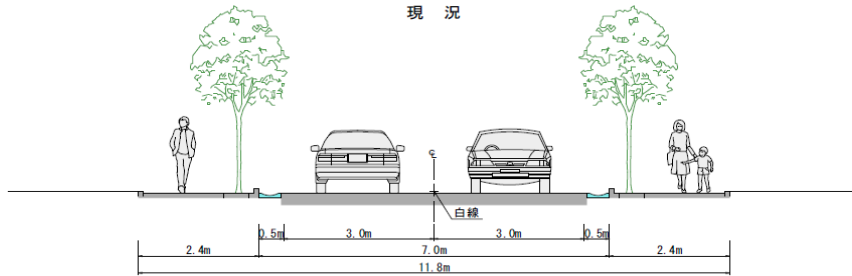


※断面図は別紙参

【事業概要】
 歩道部に段差・不陸があり、観光客のキャリーバッグでの移動や高齢者、子供連れの歩行に支障を来しているため、段差解消等のバリアフリー化整備も含めて歩道部の整備を行う。歩道部分の拡幅等の整備を行うことで歩きやすい空間を形成し、商店街への誘導を促進し賑わいを創出するものとする。

標準横断面図 S=1:50

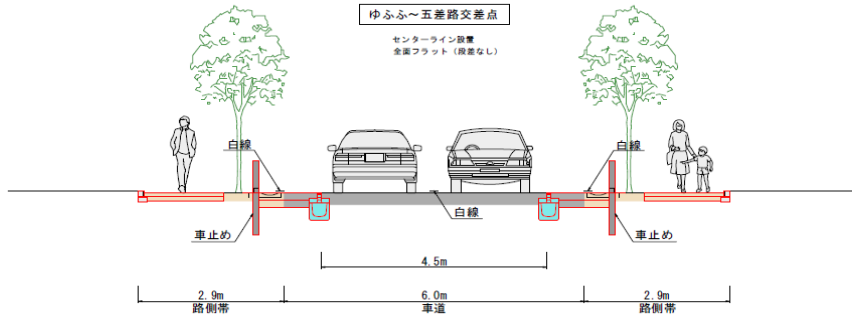
現況



整備後

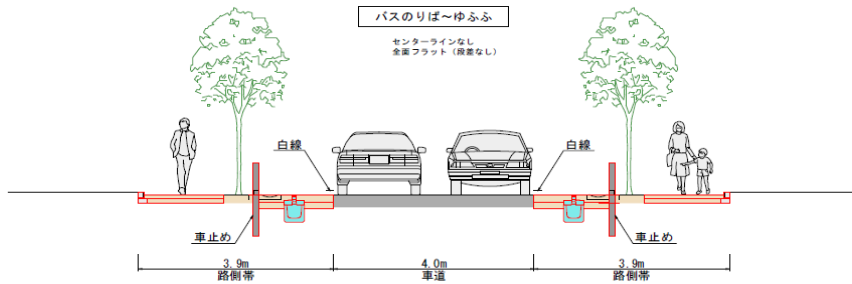
ゆふふ～五差路交差点

センターライン設置
全面フラット（段差なし）



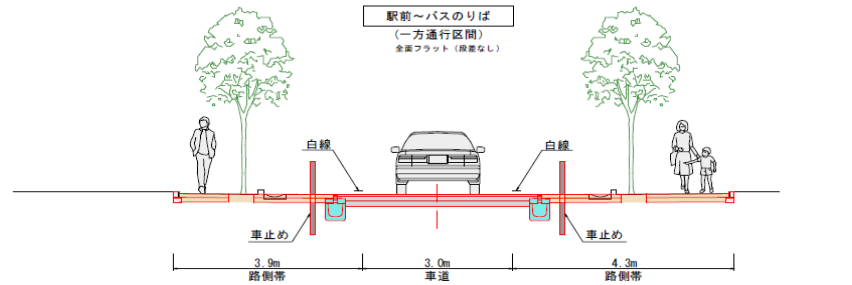
バスのりば～ゆふふ

センターラインなし
全面フラット（段差なし）



駅前～バスのりば
（一方通行区間）

全面フラット（段差なし）



高質空間形成施設

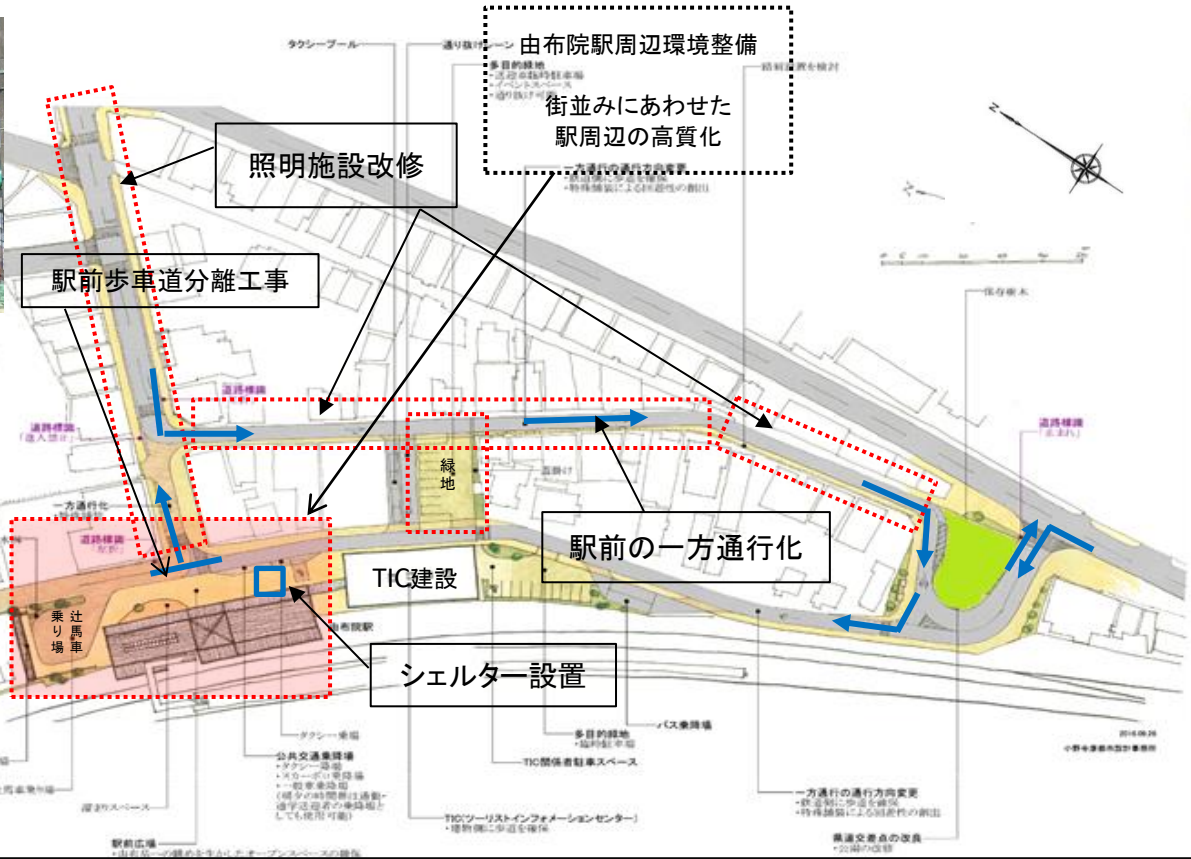
単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	駅周辺環境整備	由布市	カラー舗装及びシェルターの建設・辻馬車乗降場整備・照明施設改修 整備面積:2,200㎡	119	10		109	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	119	10		109	

高質空間形成施設

駅周辺環境整備事業

平面図



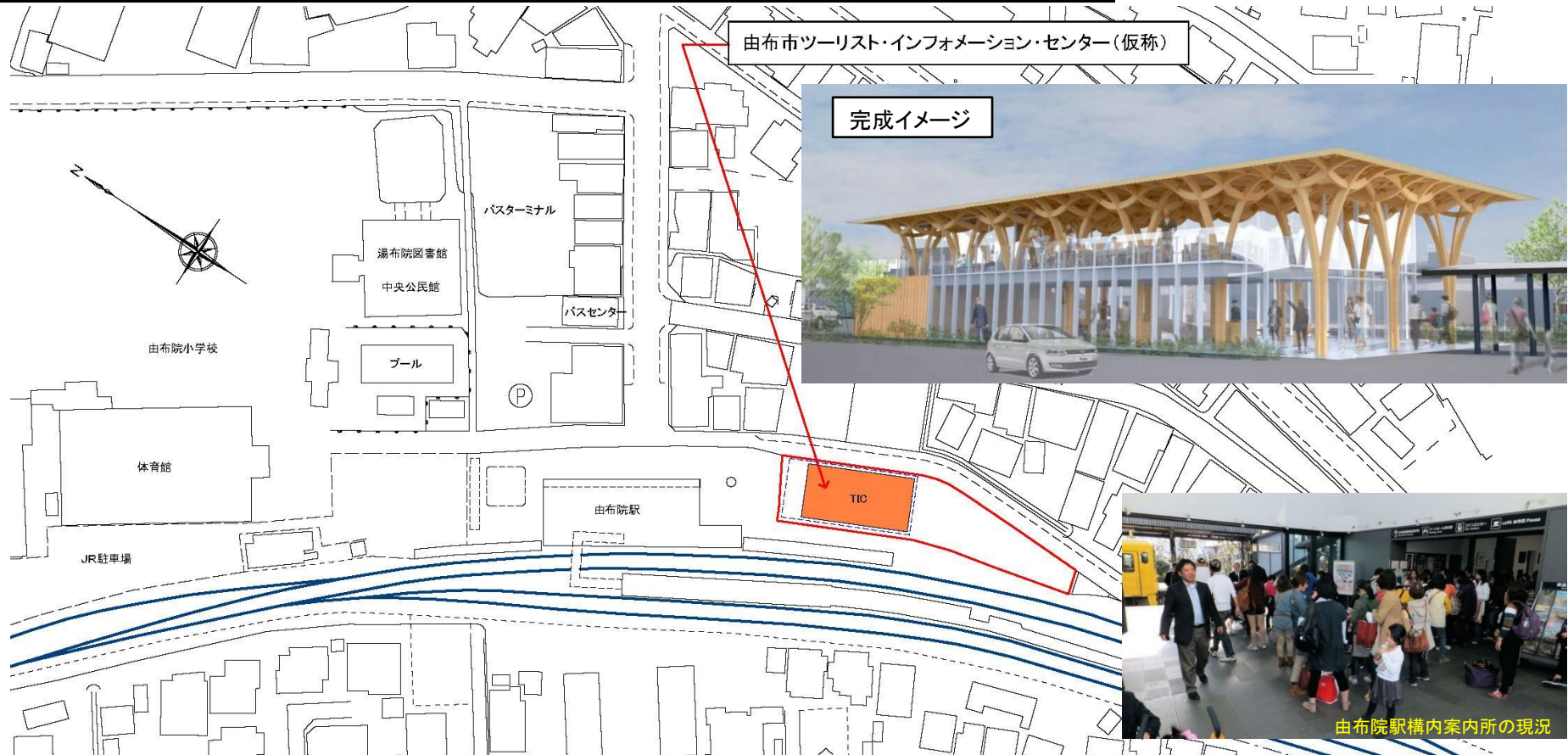
【事業概要】

JR由布院駅周辺は貸切観光バスの駅前進入や一般車両の迷い込み・回転による慢性的な渋滞が発生している。また、お宿の送迎車の駐車、タクシーの待機場、辻馬車の待機・乗降場所も駅前広場周辺にあり、歩行者と車の動線が交錯し混雑が著しく安全が脅かされており、ゆとりある由布院のイメージとはほど遠いものになっている。よって、観光交流センター建設と合わせて、駅周辺スペースの整備方針を検討する。由布院駅周辺の交通体系を変更することにより、既存の道路にロータリーとしての役割を持たせ、JR乗降客の滞留場所の確保及び駅南側のTIC側に大型車乗降場を整備する事により駅前への車両進入を抑制する。また駅前の歩車道分離を図り、歩行者の安全を確保する。タクシーや一般の待合レーンを道路側に設けることに伴い、利用者の利便性を鑑み雨宿り用のシェルターの追加整備を行う。同時に照明施設の改修を行うことで、夜間の歩行者の安全性向上を図る。TICに交流人口が集まる事により新たな動線を確保すると共に、町並みに合わせた高質空間を形成することで、観光客や地元住民が安全で利用しやすく、親しみやすい由布院の玄関口として魅力ある空間が形成される。

高次都市施設

由布市ツーリスト・インフォメーション・センター(仮称)

平面図

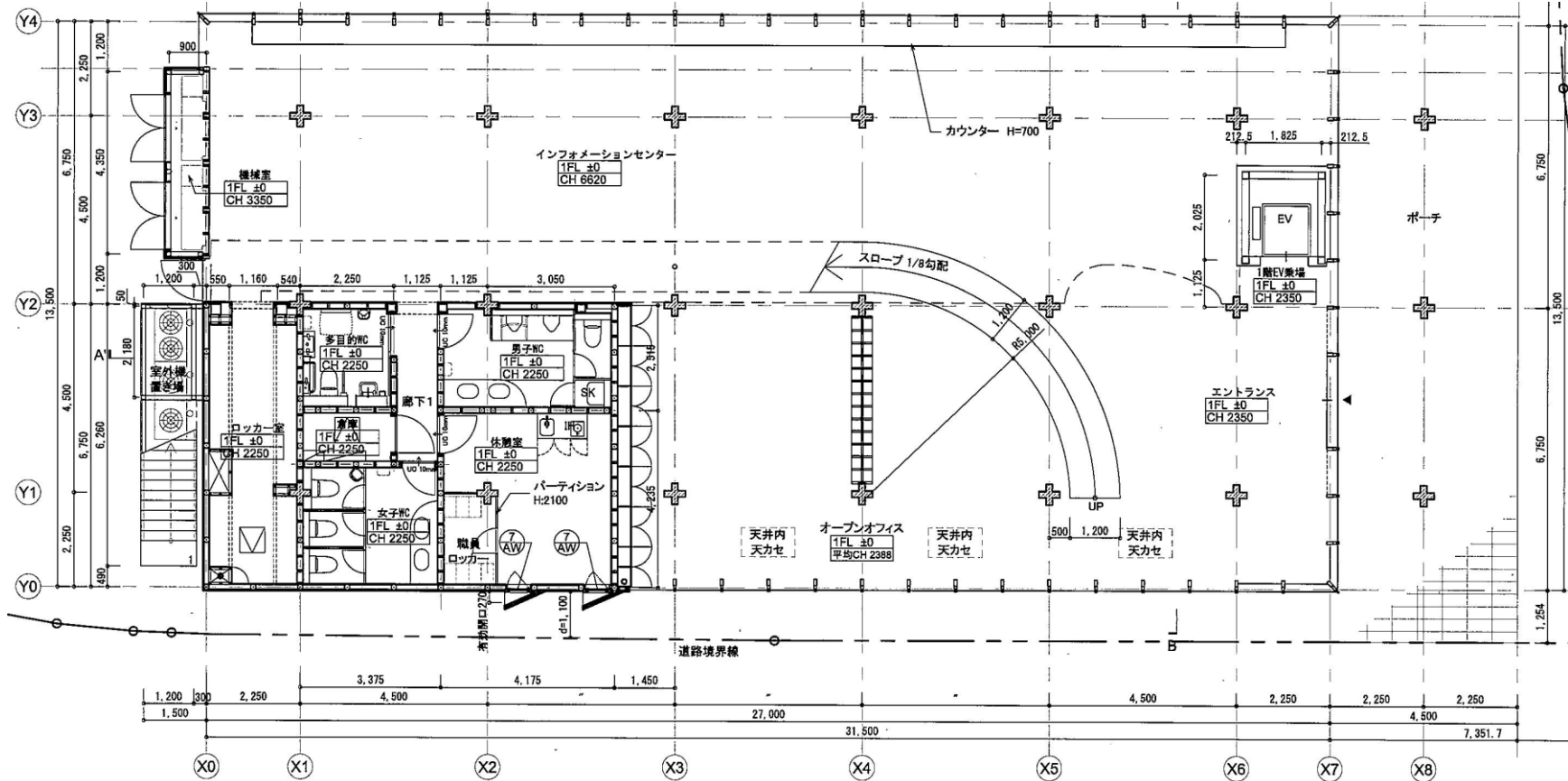


【事業概要】

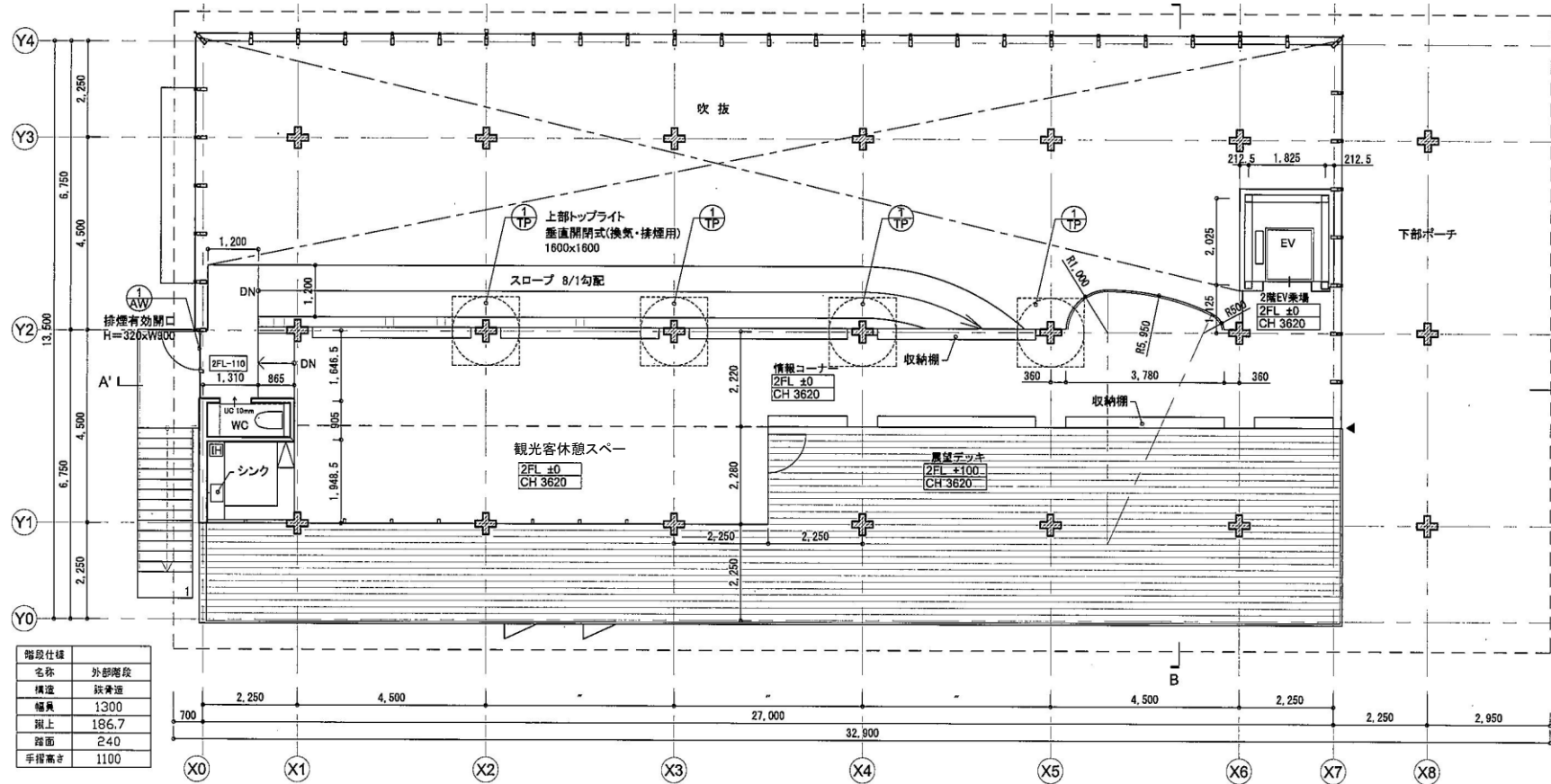
湯布院温泉は年間400万人の観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境整備、情報発信機能整備の遅れからリピーターの減少等も要因となり観光交流者は減少傾向にある。このような現状の中で、観光形態の変化に伴い個人旅行者や外国人観光客は増加しており、多様な情報ニーズへの多言語に対応した提供と案内が求められている。

現在の観光案内は、JR由布院駅構内の案内所だけでも年間16万件もの相談等に対応している現状であり、スペースを含めてその対応能力に限界がある。また、地域住民や観光交流者に対する災害等緊急時における情報伝達、避難誘導手段の整備等、情報を一元化した情報発信拠点整備が必要不可欠となっている。

計画施設は、行政の「観光施策(住んでよし)」と民間の「観光戦略(訪れてよし)」を一元化する観光情報発信拠点施設であり、施設の主な役割は、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所としての機能等、広く情報の一元化を目的としており、観光交流者一人一人が満足できる観光情報等を丁寧に発信し、魅力的で満足度の高い施設を整備する。駅周辺の交通渋滞緩和や歩車道分離を図り歩行者の安全と商店街への誘導のための新たな動線の形成をめざし駅南側に建設し他事業との一体的整備



1階 平面図



階段仕様	
名称	外部階段
構造	鉄骨造
幅員	1300
蹴上	186.7
踏面	240
手摺高さ	1100

2階 平面図

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	147	40	27	26	
計画別流用増△減額 (b)	11	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	158	40	27	26	
前年度からの繰越額 (d)	0	118	16	22	
支払済額 (e)	40	142	21	35	
翌年度繰越額 (f)	118	16	22	13	
うち未契約繰越額(g)	6	0	0	4	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	3.79	0	0	8.33	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事 前 評 価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。

○

III. 計画の実現可能性

⑥円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。

○

施設(高次都市施設・誘導施設等)必要性

都道府県	大分県	市町村	由布市
地区名	由布院地区		
施設の名称	由布市ツーリスト・インフォメーション・センター		
事業費(百万円)	413.0	延べ床面積(㎡)	520
事業期間	H28～H29		
年度計画(百万円)	H28:378(建設)、H29:35(建設)		
事業の熟度	概略設計済み	建設	○ 購入
施設の概要	<p>施設は、行政の「観光施策(住んでよし)」と民間の「観光戦略(訪れてよし)」を一元化する観光情報発信拠点施設である。</p> <p>施設の主な役割は、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所としての機能等、広く情報の一元化を目指している。</p> <p>施設構成は、情報発信と観光案内を主体とする単一用途の建築物である。</p>		
維持管理費(人件費含む)	22,700千円/年(予定)		
支援対象	情報提供及び発信スペース、観光案内スペース、休憩スペース、展望スペース、会議室、運営事務室、トイレ、倉庫 等		
ハコモノ要件	○	①維持管理費を算出し国に提出している	
	○	②郊外からの移転・統廃合・他施設との合築・個別施設計画・PRE活用計画への明確な位置付け	
	○	③三位一体改革で税源移譲対象となっていない	
	○	④他省庁の補助制度がない ※他省庁へ補助制度がないことを確認すること。	
		⑤計画・設計段階から民間ノウハウを活用して効率的なサービス提供や施設規模の適正化等を検討するとともに、民間資金等の活用を検討すること。 ※誘導施設のみ	
必要性等	<p>湯布院温泉は年間400万人の観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境整備、情報発信機能整備の遅れからリピーターの減少等も要因となり観光交流者は減少傾向にある。</p> <p>このような現状の中で、観光形態の変化に伴い個人旅行者や外国人観光客は増加しており、多様なニーズへの多言語に対応した提供と案内が求められている。</p> <p>現在の観光案内は、JR由布院駅構内の案内所だけでも年間16万件もの相談等に対応している現状であり、スペースを含めてその対応能力に限界がある。</p> <p>また、地域住民や観光交流者に対する災害等緊急時における情報伝達、避難誘導手段の整備等、情報を一元化した情報発信拠点整備が必要となる。</p>		
利用見込み	<p>施設の新築による利便性の向上、駅前広場の整備の実施による渋滞緩和等により、飛躍的に利用者増が見込まれる。さらに、現在年間14万人の外国人観光客の増加、また、JR由布院駅における年間66万人乗降客への、一人一人が満足できる観光情報の丁寧な発信と、魅力的で満足度の高い施設を整備することで、最終的には現在の観光交流者の10%程度、43万人の利用者を想定している。</p>		
	年間 43万 人		